



水稻糯品種「愛知糯115号」を開発

— 大粒で白度が高く、餅、おこわの食味が良好 —

開発の背景・ニーズ

近年、餅、みりんなどの糯米加工商品の地域ブランド立ち上げを志向する産地やメーカーが現れ、地域特産品の開発も試みられるなど、地産地消の気運の高まりから地場産糯米の需要が高まっています。そのため、病害虫抵抗性や耐倒伏性など、栽培安定性に優れ、高品質で多収、更に、差別化、高付加価値化などのニーズに合致した糯米の新品種開発に取り組みました。

成果の内容

「愛知糯115号」は、「愛知糯103号」を母とし、「あ系糯783」を父として交配を行い、その後代から育成した中生の糯米品種です。大粒で、玄米、精米ともに白度が高く、高品質で、多収です。また、耐倒伏性が優れ、現奨励品種の「喜寿糯」、「十五夜糯」にはない縞葉枯病抵抗性を持っているため、栽培しやすい品種です。



成熟期の草姿



愛知糯115号 十五夜糯

玄米の比較

玄米の重さ、大きさ

品種系統名	重さ		大きさ	
	千粒重 g	長さ mm	幅 mm	厚さ mm
愛知糯115号	28.7(135)	5.67(112)	3.27(111)	2.37(114)
喜寿糯	22.1(104)	5.18(102)	2.90(99)	2.07(100)
(対)十五夜糯	21.2(100)	5.08(100)	2.94(100)	2.08(100)

* ()内は、十五夜糯対比%

愛知県農業への貢献

本品種の普及により、良質な糯米の安定生産が可能となります。これにより、餅、おこわ、みりんなどの加工業界への対応が容易になり、県産糯米の需要拡大につながります。また、地産地消の推進、地域特産品の開発、6次産業化など、地域農業の振興に貢献できます。